

家庭学習の手引き（保護者用）

1 家庭学習のねらい

- 家庭での学習習慣を身につけさせる。
- 基礎・基本の確実な定着を図る。（主に宿題で）
- 発展的な内容や興味・関心に基づいた内容、短作文、読書等に取り組み、主体的な学習態度を身につけさせる。（主に自学で）

2 学年のめあて

- 学習時間（宿題＋自学） ※「最低でも学年×10分」
 - 低学年 「20分間程度」
 - 中学年 「40分間程度」
 - 高学年 「60分間程度」

3 家庭学習の進め方

- はじめに「宿題」に取り組みます。
- 次に「自学」に取り組みます。 ※「自学」の進め方については、別紙参照。

4 家庭学習における生活

- 規則正しい生活の定着
家庭学習の習慣をつけるためには、まずは規則正しい生活ができていることが重要です。次の点に留意してください。

- ・早寝・早起きをする。
- ・必ず朝食を食べる。
- ・前日のうちに次の日の支度をする。
- ・毎日、手伝いをする。

○学習時間の確保

塾や習い事等、忙しいでしょうが、短時間でも家庭学習に取り組む習慣を身につけさせましょう。一番、効率的な時間帯をお子さんと話し合っ（意思を尊重することは、自主性を育てることにつながります。）決めましょう。

○学習環境の整備

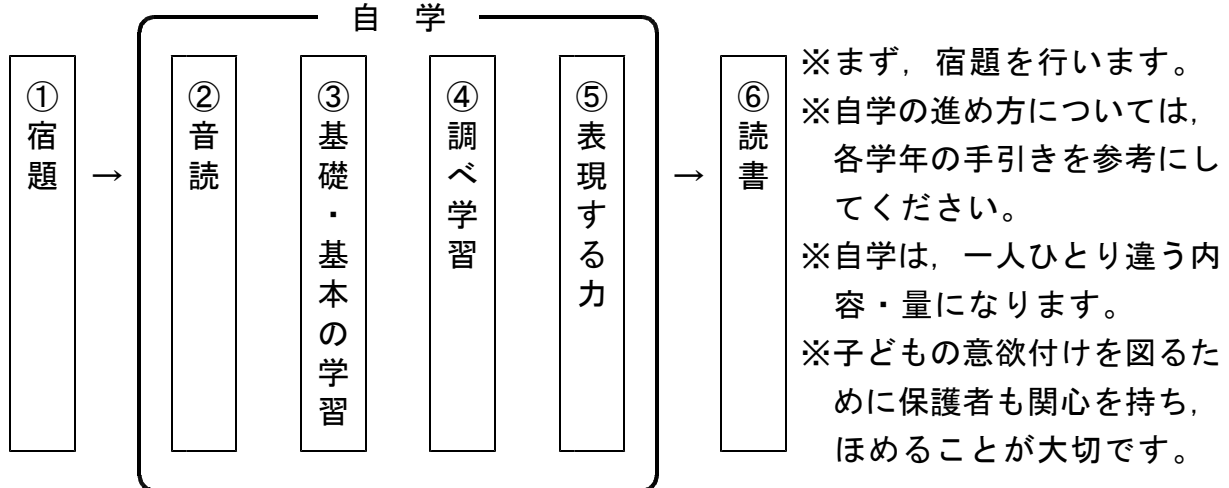
集中して学習に取り組めるように、約束事を決めます。

- ・テレビを見ながら学習しない。
- ・おやつを食べながらは学習しない。
- ・机の上を整頓し、マンガやゲームをそばに置かない。
- ・よい姿勢で学習する。

○見守り・励まし

小学生のうち、保護者の目の届くところで学習させ、声をかけたり認めてあげたりすることが大切です。学年が上がるに従って、助けを求めなくはなりますが、関心を持って見守り、子どものがんばりをほめてあげてください。

5 家庭学習の基本的なパターン



6 各学年の基礎・基本（国・算）

1年	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書がすらすら音読できる。 ・1年生で習う漢字（80字）が全て読み書きできる。 ・ひらがな・カタカナが全て読み書きできる。 ・たし算，ひき算ができる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書がすらすら読める。 ・2年生で習う漢字（160字）が全て読み書きできる。 ・かけ算九九がすらすら言える。 ・足し算，引き算，かけ算ができる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書がすらすら読める。 ・国語辞典が正しく引ける。 ・3年生で習う漢字（200字）が全て読み書きできる。 ・ローマ字を読み書きできる。 ・四則計算ができる。（くり上がりのない同分母の分数のたし算，ひき算ができる。）
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書がすらすら読める。 ・国語辞典，漢和辞典が正しく引ける。 ・4年生で習う漢字（200字）が全て読め，8割を書くことができる。 ・わり算の筆算ができる。
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・句読点や間を意識して，教科書がすらすら読める。 ・辞書や百科事典，図書を使って調べることができる。 ・5年生で習う漢字（185字）が全て読め，8割を書くことができる。 ・分数の四則計算（$+$ $-$ \times \div）ができる。
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を理解しながら，すらすらと教科書が音読できる。 ・辞書や辞典，図鑑，インターネットを使って調べることができる。 ・小学校で習う漢字（1006字）全てが読め，8割を書ける。 ・アルファベットの大文字と小文字を読み書きできる。 ・整数・小数・分数の四則計算（$+$ $-$ \times \div）ができる。